

実践計画書

1 企画テーマ名称

- (1) 地域社会と連携した情報ボランティア活動の展開
- (2) 副題：地域社会における情報格差の解消努力

2 企画のねらい

国によるe-japan戦略を受けた自治体の情報化施策や民間のIT化により、社会の様々な分野で情報化が急速に進展している。しかし、一方では利便性の享受や危険性について十分な理解や能力を獲得できない人々も生まれつつある。これは主に高齢者や子どもたちに多く、いわゆる情報弱者あるいわ情報格差とも呼ばれる。

本企画は地域におけるこれら情報格差の問題を少しでも解決するため、地域社会と学校が連携し、情報ボランティア活動を行う。このことで地域の情報化に少しでも参画することかできれば幸いである。

因みに本校は、100校プロジェクト以来、インターネットを中心とした教育の情報化に関する経験やノウハウを蓄積しており、地域社会に役立てるまたとない機会と捉えている。さらに、すべての学校が情報化に取り組もうとする今、多くの学校にとって、情報化に関する経験やノウハウの提供は、なによりも必要なものである。

また、地域社会の情報化は「地域社会と共に歩む学校教育」の実現にとっても大変有効である。

さらに、地域で取り組む国際化等も進展すると考えられる。

今年度は、専門高校としての特性を生かし、生徒の情報ボランティアへの参加を正課に組み入れることができるかについても研究の対象としたい。

今後、高校生のボランティア活動は、高校教育の中でも重要な課題となるため、多角的な検討を進めたいと思う。

3 実践計画

(1) 対象

地域社会の市民、公共機関、企業などに対する研修サービスや情報インフラ整備に関する援助活動、地域ネットワークに関する研究と実験

(2) 実施内容

高校生や地域社会に在するIT専門家、教職員、企業人、大学関係者などが協力し、情報ボランティア団体（えひめGFDay：Global Friendship Day）を構成する。この団体の活動の一環として、市民のIT講習会や公共施設（学校等）の情報インフラ整備や情報化に関するコンサルティング活動等を行う。

4 実施方法

(1) 実施体制

情報ボランティアとして地域の高校生や教師が、情報ボランティア組織「えひめGFDay」の活動に参加する。

「えひめGFDay」は、IT専門家、教師、高校生、大学生、情報関連産業等が運営する協議会等が参加するボランティア団体である。

活動は、主に「えひめGFDay」が企画運営する事業に参加する形で行われるが、学校単位での活動も実施する場合もある。

(2) 実施スケジュール

< 第1回市民IT講習 >

市民IT講習会 6月20日、21日

市民IT講習会 6月27日、28日

市民IT講習会 7月4日、5日

< 情報インフラ構築活動 >

第1回地域ネットワーク（ネットワーク機器活用）研究会・・・6月27日
校内LAN構築打ち合わせ・・・7月23日
LAN構築作業（ケーブルリング）・・・7月24日、25日
LAN構築作業（サーバ構築）・・・7月26日
第2回地域ネットワーク（ネットワーク機器活用）研究会・・・8月21日

<第2回市民IT講習会>

親子インターネット教室・・・8月2日、3日、4日、5日

<第3回市民IT講習>

市民IT講習会・・・9月26日、27日、28日

市民IT講習会・・・10月2日、3日、4日

<第4回市民IT講習>

市民IT講習会・・・11月28日、29日、30日

市民IT講習会・・・12月3日、4日、5日

(3) 実施環境

市民IT講習については、本校会場と地域社会教育施設で実施し、参加生徒は延べ人数約90名を予定している。

本校会場（コンピュータ室）での実施はIT専門家、教師、生徒、地域インターネット研究会メンバーを講師として予定。社会教育施設では、本校職員が講師、生徒を講師補助として予定している。

情報インフラ構築作業等は、本校と情報インフラ未整備の近隣校、公共施設での実施を予定している。また、地域ネットワーク等の在り方の研究については、地域のIPSや大学関係者、ネットワーク機器メーカー等の協力により進める。

情報化に関するコンサルティングについては、案件が発生した時点で「えひめGFDay」事務局が調整し、IT専門家等の検討を経て臨機応変に対応することになる。